神戸大学医学部附属病院

小児外科

指導担当医（役職）

宮内　玄徳（特定助教）

実習概要

概要

小児外科のチームの一員として 4 週間過ごします。オーダーは行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生 1 人あたり患者さんを 2～3 人担当し、主治医団の回診や IC に参加し、検査に同行し、治療計画を立案します。

医療面接

毎日、朝夕 1 日 2 回の回診を行います。

外来への参加も可能です。

身体診察

担当患者を毎日診察します。

エコーや採血などの機会があれば、小児外科医の指導の下、行ってもらいます。

外来では、身体診察を行います。

カルテ記載

学生カルテに記載を行います。指導医が記載内容をチェックし指導します。

症例プレゼンテーション

担当症例は、レポートを作成してもらいます。

レポートの作成には、小児外科医が指導に当たります。

その他（特色など）

診察や医療面接では、患児以外にも保護者の方への問診や配慮が必要となります。

医学的知識、技術以外にも、学べることは多いです。

学生へのメッセージ

臨床実習１では５日間しか実習期間が無く、また病棟での様子を見る機会が少ないため、小児外科のことがあまり理解できなかったと思います。臨床実習２では変わって、初期研修医と同じようにチームの一員として参加してもらいます。知識や技術だけではなく、患児や保護者の方への接し方など、多くの事が学べる体制を整えています。担当患者さんが、手術をし、元気になり帰っていくまでをぜひ一緒にチームとして行いましょう。